

その他の飲食店におけるその他の装置、設備を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
4	17～18	店内厨房にてフライヤーの清掃中に、一つの清掃終了後バットの蓋をしようとした所、少しずれておりうまく閉める事ができず、力を入れて押し込もうとしたところ蓋が滑ってしまい、蓋ごと誤って油の中に右手を入れてしまい、右手甲部に火傷をしてしまった。	68～49	30
4	15～16	店舗厨房の配膳車プールで、夕食配膳の準備で配膳車にトレイをセットしているとき、前方不注意でつまずき、転倒して骨折した。	68～29	10
5	12～13	厨房にて昼食盛り付け時、ウォーマーの上にあるホテルパンを差し換えようとして、下から出ている蒸気（ウォーマーの中には熱湯が入っている）が右手指に当たってしまった。	44～29	10
7	15～16	右側のフライヤーの前で手元が滑って、油の中に入ってしまった。	36	1～9
10	13～14	厨房内にて調理中、持病により意識を失った。その際、コンロに手を置いたまま座り込んだ体勢となったため、左手中指3本を火傷。皮膚移植の手術を行った。	53	1～9
12	9～10	当社事業場において、店頭販売準備のため、車輪付きのサンプルケースを押して移動していたところ、出口前の側溝の隙間に車輪が挟まり、サンプルケースが倒れ、左足先に落下し骨折した。	39	100～299

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html